



# 議会からのたより

## 議会の主な動き

(令和4年2月～令和4年4月)

- 2月16日  
第1回議会全員協議会開催
- 2月17日  
北海道町村議会議長会理事會に議長出席(ウェブ会議)
- 2月18日～19日  
北海道後期高齢者医療広域連合議会定例会出席のため議長札幌市に出張
- 2月21日  
第1回議会運営委員会開催
- 2月28日  
留萌管内町村議会議長会臨時総会出席のため議長羽幌町に出張
- 3月10日  
第2回議会全員協議会開催
- 3月24日～25日  
北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会出席のため議長札幌市に出張
- 4月12日  
第3回議会報発行特別委員会開催
- 4月21日  
第4回議会報発行特別委員会開催
- 4月28日  
第3回議会全員協議会開催

## 第2回定例会

3月7日から3月11日の5日間を会期として開催し、定期監査報告、令和4年度町政執行方針、教育行政執行方針、各会計予算案の概要について説明を受け、一般質問は、小森議員、白井議員の2名が行った。

専決処分の報告、副町長の選任同意、固定資産評価審査委員会委員の選任同意、令和3年度各会計補正予算、条例の制定・一部改正、指定管理者の指定について審議し、可決した。

また、令和4年度各会計予算については、予算審査特別委員会に付託し、本会議において承認し、3月10日に会期を1日残して、閉会した。

## 行政報告

- ◆ 遠別中学校建設場所における意見の報告(詳細は7頁)◇
- ◆ 波浪に伴う北里地区海岸侵食における査定結果
- ◆ 新型コロナウイルスワクチンの接種状況
- ◆ 民間賃貸住宅建設助成事業の完了予定
- ◆ 令和4年度北海道遠別農業高等学校入学者の出願状況



## 報告

- ◆ 令和3年度定期監査報告
- ◆ 専決処分の報告(工事請負契約の変更)
- ◆ 公営住宅建設工事(建築主体工事)

## 審議事項

- ◆ 副町長の選任
  - ・ 投票による採決が行われ、富士原栄治氏(本町5)の選任に同意した。
- ◆ 固定資産評価審査委員会委員の選任
  - ・ 北畠千二美氏(本町5)の選任に同意した。
- ◆ 個人情報保護条例の一部改正
- ◆ まちづくり応援寄附条例の一部改正

- ◆ 税条例の一部改正
- ◆ 建築技師職員就労奨励金交付条例の制定
- ◆ 保健福祉職等職員修学資金貸付及び就労奨励金交付条例の一部改正
- ◆ 指定管理者の指定
- ◆ 遠別町生涯学習センター指定管理者「遠別商工会」

**補正予算**

- 【一般会計】
- ◆ 議員費用弁償 379万5千円減
- ◆ 遠別・キャッスルガー青少年相互訪問事業補助金 990万円削除
- ◆ 草地畜産基盤整備事業負担金 1,095万9千円増
- ◆ 旭温泉施設運営指定管理料 800万円増
- ◆ 町道除排雪業務委託料 4,000万円増
- 【簡易水道特別会計】
- ◆ 簡易水道事業公営企業会計適用業務委託料 549万4千円減
- ◆ 道道名寄遠別線奥島橋橋梁添架工事 1,380万7千円減

- ◆ 浄水場屋上防水改修工事 193万2千円減

**【下水道特別会計】**

- ◆ 特定環境保全公共下水道事業公営企業会計適用業務委託料 549万4千円減
- ◆ 特定環境保全公共下水道遠別浄化センター改修工事 191万7千円減

**意見案**

- ◆ 地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書  
提出者 小森議員  
賛成者 柏谷議員、山本議員
- 意見案は3月10日の議会定例会で採択され、国の関係機関に送付した。



**町長からの行政報告（抜粋）**



**遠別中学校建設場所における意見の報告**

新校舎を建設することが望ましいとする報告がありました。今後におきましては、学校運営協議会の意見を尊重しつつ、「教育施設長寿命化計画」、「遠別町立遠別中学校建設基本構想」に基づき、建設場所の選定を含め、基本設計に向け参考にしたいと考えております。

遠別中学校新校舎の建設場所については、教育委員会が主体となって検討するよう指示をしておりますが、令和4年1月26日に、学校・保護者・地域住民等で組織されております遠別町学校運営協議会、清水会長が来庁され、協議会で4月から3回にわたり新校舎建設場所について、協議検討した結果の報告を受けました。

報告の内容といたしましては、災害時の避難のしやすさ、周辺住民の避難場所としての利用や通学の利便性等を検討しつつ、会議には若葉町町内会役員を招き、町内会の意見も取り入れながら、現グラウンド用地に



中学校校舎

小森議員

**問** 人口減少対策として、人材確保とU・Iターンの支援を。

笹川町長

**答** 費用対効果の大きな対策を模索中。必要な支援があれば対応。

町政を問う

第 2 回 定例会「一般質問」



**問**

我が町も人口減少が進んでいる。人口減少により活気が失われ、経済活動の停滞もあり、今後多大な影響が感じられる。

新年度から、診療所や中学校等インフラ整備の計画が進められている。

しかし、人口減少対策も重要であると考えます。現在、結婚祝金など数多くの定住支援をしているが、現状を見据え、今まで以上の移住定住対策を進めていくべきと考えます。

①遠別町のホームページには、地域おこし協力隊員募集とあるが、人材確保イベント・移住交流イベントに積極的に出向き、人材確保に努めるべきではないか。

②町にUターン・Iターンを考えている人々に、今まで以上の支援策を整備し、本町の魅力を発信し、人材確保や移住人口増加につなげていくべきではないか。



**答**

人口減少により町内の活気が失われていくことは懸念をしている。町内の将来を担う若い世代が共に活動し、青年部連携事業を展開していることは、大変心強い。

子育てをすすめていくうえで、

保護者負担の軽減、更には結婚・出産・子育てまで、安心して暮らせる街づくりを引き続き進めたい。

①各種イベントに積極的に参加することも必要であるが、単に参加するだけでは人材確保に繋がらないと感じている。言い換えれば、参加しなくてもインターネットなどの活用により、同様の効果が得られると考えている。

また、職員に対し、「遠別町のPRを積極的に取り組んで欲しい」とお願いをした。産業団体においても独自でイベントなどに参加し、就業者の確保に取り組んでいる。

継続してイベントに参加することも必要であるが、小さな費用で大きな効果が得られる取り組みを模索している最中でもある。

②生まれ育った遠別を離れ、また住み慣れた遠別の良さに気づき、戻られて地元で就職されることは、非常に喜ばしいことである。

過去には、婚活イベントを実施し、人口増加に繋がる事業にも取り組んだが、効果が得られなかった。

現在、起業化支援事業、新規就農対策、結婚・出産祝金、移住住宅の確保、医療費の無料化など、様々な支援事業を行っており、現段階では追加の支援は考えていない。

しかし、時代の流れや社会情勢の変化により、必要な支援策があれば、適時対応したい。



結婚祝金の交付

再質問

問

③農業では、新農業人フェアだとか農業研修や雇用確保の取り組みもしているが、産業団体と行政が情報交換をしながら、インターネットでの情報発信もあわせて人材確保の取り組みを進めていくべきと考えられている。行政が計画されてるイベントに青年部連携団体や産業団体と共に、人材確保に取り組むべきではないか。

また、顔と顔を合わせるような人材確保を、今までと違った一歩進んだ取り組みはできないか。

④Uターン、Iターンで故郷に戻る方が、多くいると思ってる。その中で起業化支援、新規就農支援等、支援策は十分に整備されていると思う。

しかし、一次産業の中では、農業には、新規就農支援などいろんな支援策を受けられる状況であるが、酪農家にUターンされた方々は、なかなかそういう支援が受けられていない方も見受けられる。不公平感を是正する意味で、故郷に思いを寄せてUターン、Iターンをされる方に、

手厚い政策を考えるべきではないか。

答

③インターネットを、多くの国民が使用している。そういう中でネット上のホームページも含めて、PRは必要だと思ってる。

町のホームページも、インパクトのあるホームページにするため、改めて担当する職員とホームページを作り替えることを進めていきたい。

また、ネットアプリ等の利用を積極的に若い人達が取り組んでいただきたい。ただ、これについては、どういった支援ができるか整理はついていない。

さらに、ただ単に人と人との、巡り合わせだけでなく、産業振興上の支援策も必要と思ってる。サービス産業、二次産業、三次産業に向けて、行政、産業団体、経済団体を含めて話し合いの場を持ち、こういった形で地域を盛り上げていくのかという点も、必要であると思ってる。

④Uターン・Iターンについては、少しずつ、地元に戻ってこられる

方が増えてきているという認識をもっている。移住定住住宅等の提供も今やっている。積極的な受け皿をPRすることが必要と考えており、そんな形で進められればいいなと思ってる。

一次産業の中で酪農については、なかなか支援策を受けられないという話もあったが、搾乳農家が減ってきている状況の中で、農協とも十分提携しながら、搾乳農家の確保についても、産業振興上必要なのかなと思ってる。

行政だけでなく、農業委員会、農協とも連携して支援に繋げるような形にしていきたい。

再々質問

問

⑤ネットアプリの関係については、いろんな方々がもう取り組んでいるのが実際であり、行政としてどういう支援ができるか大きな課題になると思う。

これは、今の若い人方にも有効な手段、方策だと思うので、早めに検討をするべきではないか。

⑥農業において、農業者減少で

農地が休んでいく、休耕農地になるっていうのは理解できない。るもい農協と、力を合わせていける、そういうところがあるか。

答

⑤ネットアプリについては、この時点で行政がどういう支援ができるのかは、今のところ難しい。

⑥JAるもいと連携をする過程の中で、産業、農業振興上に必要なこと、農家の環境、そういったことを盛り上げる意味について、話し合いを持っていきたい。



白井議員 **問** 郷土資料館の老朽化が激しいが、維持管理と大規模改修は？

佐藤教育長 **答** 建物自体貴重な資料であり、点検、修繕を行いながら現状を維持する。



**問**

文化は、長年の歴史の中培われてきたものであり、先祖から伝承し、後世に引継がれていかなければならない大切なものである。現在、丸松郷土資料館と清川の収蔵庫に、寄贈された多くの資料が保存されている。

①丸松の郷土資料館も老朽化が激しく、今後、郷土資料館維持管理と資料の保存をどのように考えているか。

②個人で保管している古い農機具や各種の道具等貴重な資料が、離農や廃業により廃棄されることが懸念され、そういった資料の受け入れ態勢はどうなっているか。

**答**

現在の旧丸松小学校である遠別町郷土資料館は、昭和59年9月に開設以来、郷土資料の収集や保存を含めて遠別町開

拓の歴史や当時の町並みなどを紹介しており、遠別町として、先人の足跡を残す貴重な文化遺産である。

現在、予約制であり、年間20名前後の来場者を迎えている。

また、郷土資料館だけでは資料の保存に限界があるため、平成12年4月から、旧清川小学校を郷土資料の収蔵庫として使用しており、農機具などを含め相当数の資料が保存されている。

①郷土資料館、収蔵庫ともに老朽化が激しいものの、郷土資料館の建物自体が貴重な資料であることから、両施設とも現状を維持し、保管している資料の保存をしていく考えである。

②収集したものは教育委員会で購入している状況にあり、寄贈の申し出があった場合などの受け入れ態勢については、台帳と照合し類似品を除き、必要なものを受け入れている。今後も貴重な文化遺産として、収集、保存していきたい。



再質問

**問**

③旧丸松小学校の郷土資料館は、町内でも貴重な建物と考える。風雪等自然災害により、消失を防止するため、現状の建物の収用物を最善に管理するため、方策・対策を考えているか。また、今後大規模改修を考えているか。



郷土資料館

**答**

③資料館の管理については、夏には職員による目視によつて壁や屋根等を点検している。台風などの強風後にも点検を行い、冬期間においては職員で屋根の雪下ろしなどをしながら

管理をしている。

また、建物だけではなく、資料館周辺はボランティアの協力もいただきながら草刈りや除草剤の散布などを行いながら、現在、維持管理を行っている。

今後の改修等の考えについては、建物は古いものということでは理解もしている。ただ、現状はまだしっかりしているというふうには認識しており、今直ぐに大規模な改修などということでは考えていないが、簡易な修繕を行いながら、現状を維持し管理していきたい。



# 令和4年度 遠別町各会計予算審査特別委員会

令和4年第2回議会定例会で一般会計外6件の予算審査を遠別町各会計予算審査特別委員会に付託し、3月9日・10日の2日間で審議が行われた。委員長には柏谷委員、副委員長には山本委員が選任され、提案のあった全ての予算は原案のとおり可決された。

主な質疑は次のとおり。

## 【一般会計】

### ― 総務費 ―

#### 街路灯LED化の設置箇所

Q 街路灯LED照明リース料とあるが、これは町内のどの辺りに設置するのか。

A 町が所有している街路灯全て。本数的には387灯予定している。

### ― 総務費 ―

#### インフルエンザワクチン

#### 接種回数

Q 予防接種技術援助委託料にはインフルエンザも含まれると思うが、インフルエンザワクチン

ンは例年、供給が間に合っていないと理解をしているが、基本的に本町では1回を推奨というか、年齢関係なく1回なのか。

A インフルエンザワクチンは、国で13歳未満の方については、2回推奨となっている。ただ、ワクチンが希望数量に満たない供給しかされないというところで、当町だけでなく、全国的にワクチンは不足していると聞かれる。

本町に関しては、なるべく幅広く、1回の限られたワクチンを打っていただくということ、0歳から15歳以下の方、65歳以上の方は、1回のワクチン無料、64歳以下の一般の方は、1千円の自己負担で、なるべく高齢者の方をまず最優先に考え、それ以外の方にも幅広く打っていただくということ、助成をしている。



### 脳検診受診機会の拡充

Q 脳検診も毎回受診者がかなりいると思うが、受けられない、空いていけば受診できる。改善したほうがよいのではないか。

A 脳検診は、中村記念病院に委託し隔年で実施していたが、令和2年検診は、コロナのため中止となっている。直近で検査を実施したのが平成30年で、4年前になる。令和4年度については、予算は80名分みている。

Q 80人分検診受けるときに予約しても、前回受けているというところで、今回待つてくださいます、受診できない人も多い。

それだけ、脳検診は人気があるが、増やす考えはないか。

A これについては、中村記念病院の検診バスの中で検査しているが、委託をしている中村記念病院のほうで、1回あたり80名と定員が定められているので、その定員いっぱいまで募集をさせていただいている。

### ― 病院会計 ―

#### 医師住宅建設

Q 職員住宅の新築工事を計画しているが、いつ頃完成か？

A 実施設計等の委託も今回の予算で計上しており、秋ぐらいまでには実施設計に基づいた形で建設をしていきたい。

Q 完成後は医師住宅なので、当然、院長が住むと思うが、そのように進めているのか。

A 新たに建設する住宅は、院長が今年定年になるので、新たに常勤医を確保していかなければならないと考えている。

新たに常勤医を確保するにあたり、今まで4名ほどの医師の方に視察と、院長等との面談、また町長と話を詰めてきたが、医師の住む住宅についてクレームが多いということで、今回、新たに建設をお願いした。そういう意味合いもあるので、新規に迎えていきたい医師にと考えている。

院長については、今の住宅で問題がないと、事前に話があった。

シリーズ

# えんべつ町民 独占インタビュー

Vol.10

◎遠別町の住民をピックアップし、まちの印象や、行政、議会に対する思いなどをインタビューし、議会活動に役立ていきます。

(株)野生塾代表取締役社長 泊和幸さんと(株)野生塾の遠別町フォトサークルの4名の方に取材をさせていただきました。

## ～野生塾の活動～

写真家として全国で写真展の開催やメディア取材対応、また遠別町フォトサークルの活動をしています。

フォトサークルの会員数は全国で 27 名おり、教員やテレビ局のカメラマン、広告代理店の方など、会員一堂に集まることはありませんが、都合のいい時に集まったり撮影場所の情報提供をしています。全国から年間 80 名位の方が撮影のため来町されるので対応しています。



泊 和幸さん

## ～ 1 枚の写真にストーリーを ～

1 枚の写真の中に物語が伝わるような撮影姿勢が大切です。このようなインタビューの時でも手の動きや熱弁を振るっている等、心意気がある写真だと見る人に伝わるので生き生きとした写真が撮れます。

また、写真に載せるコメント力も重要です。たとえいい写真が撮れてもコメントが悪かったらボツ写真になってしまいます。



遠別町  
フォトサークル



家入 麗子さん

昔ブログ等に自宅で育てたバラや猫の写真をアップしていました。本格的に始めたのは、小鳥の写真を泊さんに見てもらったら向いているかもしれないと言われ、フォトサークルに入りました。遠別町の自然の豊かさを知り世界が広がりました。



バーカー・  
キャメロンさん

10 年位前に初めてカメラを貰い、写真を撮っていたが、自分の写真が好きになれなかった。遠別にきて、泊さん、家入さんに会ってから野生動物の写真が好きになり、今後は自分のホームページ等で、北北海道のいい景色、動物を世界にアピールしたい。



原田 啓介さん

野生塾に入って泊さんがおっしゃった1つの写真に物語があるというのは、人物画にも共通する部分があり、いい影響をいただいています。遠別町の写真は撮り続けているので、今後は自分の写真集を出せたらいいなと思います。



舟田 哲雄さん

中学生の頃から興味はあったが、本格的に写真を撮り始めたのは仕事をリタイアしてから。カメラはまだ使いこなせないが、泊さんに設定を教えてもらっている。良い先生に恵まれてよかった。いい写真が撮れるとやみつきになる。

## ～ 今後のメディア出演予定 ～

5 月上旬から 15 分番組ですが、『さわやか自然百景』というテレビ番組（全国放送）の取材が入っており、約 2 週間遠別町内、空撮の予定もされています。

議員出席状況

令和4年2月1日～令和4年4月30日

区分 議員名	定例会・臨時会						常任委員会等				特別委員会			合計			出席率 (%) ⑥/⑤								
	開催 日数 ①	出席内容			出席 日数 計 ②	欠席内容			総務 産業 ③	文教 厚生 ④	議会 運営 ⑤	全員 協議 会 ⑥	議会 報 行 ⑦	決算 審査 ⑧	予算 審査 ⑨	開 催 日 数 計 ⑩ + ⑪ + ⑫ ⑬		出 席 日 数 計 ⑭ + ⑮ ⑯ ⑰	欠 席 日 数 計 ⑱ + ⑲ ⑳						
		全 日 出 席	遅 刻	早 退		慶 弔	病 欠	そ の 他												出席内容			欠席内容		
																				全 日 出 席	遅 刻	早 退	出 席 計 ④	慶 弔	病 欠
西畑 広男	3	3			3				5	5			5			8	8		100.0%						
小森 嘉孝	3	3			3				7	7			7			10	10		100.0%						
白井 金治	3	3			3				6	6			6			9	9		100.0%						
柏谷 美春	3	3			3				5	5			5			8	8		100.0%						
木村 秀雄	3	3			3				4	4			4			7	7		100.0%						
千葉 光悦	3	2			2		1		4	1			1		3	7	3		42.9%						
大石 幸夫	3	3			3				4	4			4			7	7		100.0%						
山下 悟	3	3			3				6	6			6			9	9		100.0%						
山本 仁美	3	3			3				4	4			4			7	7		100.0%						

## 議会を傍聴してみませんか

次の定例会は**6月10日頃**の開催予定です。

【お問い合わせ】  
議会事務局  
電話 7-2147 (直通)  
メール gikai@town.embetsu.hokkaido.jp

詳しくはテレビ電話でご確認ください。



## タイトル写真



4月6日、インタビュー実施の際に撮影いたしました。

発行：遠別町議会  
編集：議会報発行特別委員会  
委員長 小森 嘉孝  
副委員長 山下 悟  
委員 白井 金治

## あしがき (白井委員)

日常に使われている六曜は、先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口の順に日巡る六曜星と呼ばれるもの別名「六輝」といわれる。

有名なところでは「大安」万事において吉日ということで祝事に使われることが多く、結婚式のがあいさつ定番の「お日柄」という言葉から日本人の情緒がうかがえる。原型は中国から鎌倉時代に日本に伝わり流行する。カレンダーで確認し、時世を顧みるのも有りかなと思う。

